調査研究資料④　教科　社会　（種目　歴史）

発行者・教科書名	推薦理由
東京書籍 新しい社会 歴史	問いの構造化がされており、単元を通した課題解決的な学習を進めることができる。「導入の活動」「まとめの活動」などには、歴史的な見方・考え方として、「時期や年代・推移・比較・相互の関連・現在とのつながり」が掲載され、それらを意図的に働かせることで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっている。「みんなでチャレンジ」では、小集団での対話活動が効果的に取り入れられている。また、章末には、時代の特色を考察する「まとめの活動」が位置付けられ、思考ツールの活用によって、生徒が自らの思考を整理したり、可視化したりして学びの変容をより実感できる。「歴史のまとめ」では、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題を取り上げ、社会参画の基礎を養うことができる。
教育出版 中学社会　歴史 未来をひらく	本文の学習ごとに、学習課題と対応させた「確認」「表現」のコーナーが設けられている。この時間で学習したことをもとに、「確認」では基礎的確認事項の確認・整理に、「表現」では歴史的事象についての説明や話し合いなどの表現活動に、段階的に取り組めるように工夫され、主体的で深い学びにつながるよう促している。興味や関心を広げていく「歴史の窓」や、歴史を掘り下げていくテーマ学習のページを設け、個人やグループで学びを深めていく構成となっている。「歴史の技」コーナーを設け、学び方を身に付けられるように配慮されていることが、大変分かりやすい。岐阜県の偉人である杉原千畝の偉業が見開き２ページで掲載され、ふるさとや地域への愛着を持ち続けることができるように構成され、大変分かりやすい。
帝国書院 社会科 中学生の歴史	各本文ページ末尾に「確認しよう」「説明しよう」の課題が設けてある。「確認しよう」では基礎的知識を、「説明しよう」では学習内容の説明を求めており、言語活動を備えた学習の振り返りの場面を設けることで、基礎的・基本的な知識を習得させ、深い学びを促している。「多面的・多角的に考えてみよう」という特設では社会に見られた課題に対して、当時の様々な人々の立場や選択を通して考察できるようになっており、生徒自身の主体的・対話的な深い学びを促している。また、本文ページ中の各写真や統計類において「資料活用」の問いが設けてある。習得した技能を生徒自身が磨いていけるように構成されているため、大変分かりやすい。
山川出版 中学歴史 日本と世界	小学校での歴史の学習を踏まえ、中学校での学習ではそれをベースに、さらに幅広く、深く歴史の知識を身に付けられるよう、本文の分量が豊富に構成されている。第一章「歴史との対話」では、「身近な地域を調べよう」で、生徒が自ら気付いたり、疑問に思ったりしていることを調べる方法が紹介され、主体的な学びを促している。また、各テーマの冒頭には、そのテーマを理解するための発問があり、本文を読む視点を示している。各章の最後には「歴史を考えよう」や「歴史へのアプローチ」などのページが設定され、取り上げた美術品や史跡などから課題を話し合い、考察しながら歴史を学ぶような工夫が、関心を深めている。
日本文教出版 中学社会 歴史的分野	「基本用語」で歴史の理解に役立つ用語が解説されており、分かりやすい。また学習課題に対応し、見開き学習の理解を確かにする問いが「確認」で位置付けられており、基礎的・基本的な知識・技能の定着に有効である。第１編で、小学校の歴史を振り返りながら「歴史的な見方・考え方」を学んだり、本文ページに学習課題の解決に向けた手掛かりとなる主な「見方・考え方」を示したりするなど、生徒の主体的で深い学びを促している。また「チャレンジ歴史」では、生徒が選択・判断する学習を位置付け、主体的・対話的な学びについて興味関心を高め、探究意欲を深めている。
育鵬社 ［最新］ 新しい日本の歴史	見開きのページごとの「鉛筆マーク」や、各章の「学習のまとめ」に取り組むことによって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。章末の「学習のまとめ」では、重要語句をまとめたり、地図で位置を確認したりすることによって、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。１授業時間を見開き２ページとし、左ページには課題が示され、右ページには学びを深めたり、理解を確かにしたり問いを設けられており、何を学ぶのかが分かりやすくなっている。各章に時代を代表する大きな出来事について、様々な資料をもとに多面的・多角的に考察し、意見を議論する「歴史のターニングポイント」のページを位置付け、対話的な学びを促している。
自由社 新しい歴史教科書	見開きのページごとの「チャレンジ」によって、一単位時間で習得した知識をまとめることでがきるようになっている。章末に「時代の特徴を考えるページ」や「対話のページ」があり、事象の共通点を考えさせたり、時代の流れをつかませたりしながら、習得した知識を活用して、主体的な学びを促そうとしている。 図版や資料を効果的に配置するとともに、「外の目から見た日本」や「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」などの多彩なコラムにより、生徒の学習意欲を喚起しようとしている。